

気になる糖尿病

●増え続ける糖尿病

現在、日本では約600万人(人口の約5%)が糖尿病にかかっているといわれます。放置すると、合併症により障害をおこしたり、死をまねく要因ともなります。早期に発見し、生活の改善を行いましょう。

●糖尿病は、なぜ起きるか

食べ物から消化・吸収されたブドウ糖(血糖)を、エネルギーに変えるインスリンの不足、あるいはその作用の不足により、血液中にブドウ糖が増えてしまう病気です。

糖尿病の二つのタイプ

I型

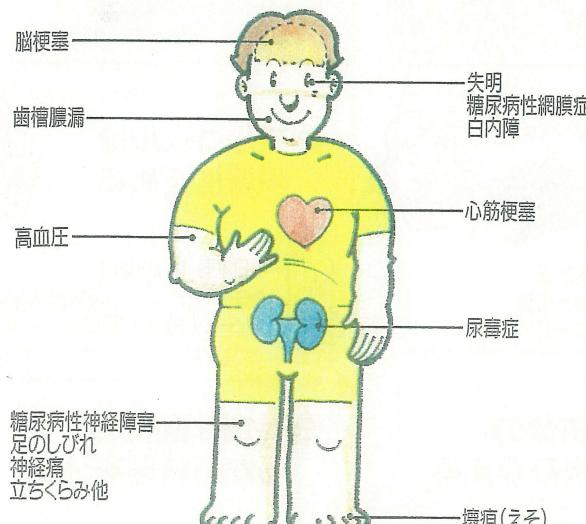
インスリン依存型
インスリン分泌の絶対的不足

II型

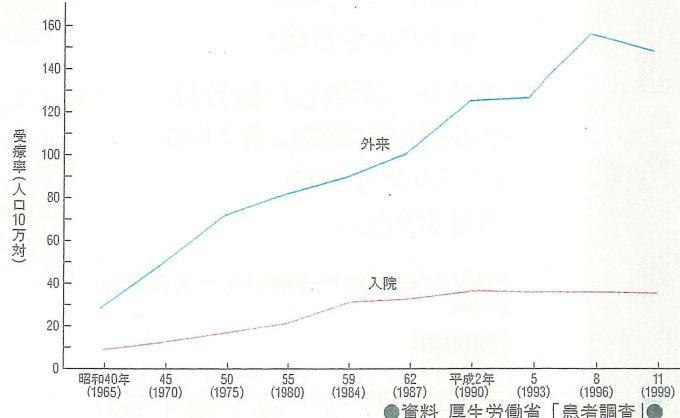
インスリン非依存型
インスリン分泌不全と作用の不足
糖尿病患者の95%が
非依存型タイプです。

●放置すると怖い合併症

血糖の高い状態が続くと細小血管障害や動脈硬化が促進されます。とくに、毛細血管が集まっている目の網膜や腎臓、神経が侵されます。



受療率の年次推移



●資料 厚生労働省「患者調査」●

●どういう人に多いか

加齢とともに多い

〈糖尿病患者数〉
30~39歳：100人に1人
40~59歳：20人に1人
60歳以上：10人に1人



太りすぎに多い

インスリン非依存型患者の
60~80%が
肥満者



●糖尿病危険度チェック

次の項目のいずれかに該当する方は、定期的に健診を受け、健康管理をこころがけましょう。

①血縁者に、糖尿病の人がいる

②肥満(20歳代前半の健康時の体重より1割増以上)

③食欲が異常にある

④尿の量が多い。のどがかわく

⑤コレステロール値や中性脂肪値が高い

⑥妊娠中に糖代謝異常があった

⑦4kg以上の巨大児を出産した

* インスリンは、膵臓から分泌されるホルモン。血液中のブドウ糖は、単独では細胞膜を通り抜けられない。インスリンはブドウ糖を通す役割をする。

●メモ